

「気象学会女性会員に関するアンケート」を行ない、女性研究者の実態、問題点について調べてみました。アンケート内容は、資料1を参照してください。設問は知合いの女性会員数名に意見を求め決定しました。回答数は46(男性16,女性30)。主な結果は次のとおりです。

1. 女性の学会活動(男女共) 活発・男女差はない86%
 - 不活発だと思う理由:人数が少ない(60%)
 - 女性研究者人数の外国との比較について資料2参照
2. 職業に対する満足度(女性のみ) 満足・まあ満足88%
3. 研究活動に対する充実度(女性の研究職と学生のみ) とても充実・まあ充実93%
4. 研究上の不利益(女性のみ)
 - フィールドワークに参加させてもらいにくい(5人)
 - 厳しいコメントをもらいにくい
- cf. 研究上の利益
 - 名前を覚えてもらい易い ↔ 目立ってやりづらい
 - 親切に教えてもらえる ↔ 必要以上に親切で迷惑
5. 就職の時の差別または区別(女性のみ) あり55% なし45%
 - 雇用機会均等法成立(1985年)の前後から、女性も大学・その他の機関に能力に見合った就職する人が増えつつある(良い傾向)。
 - 暗黙の女性定員(去年とったから今年とはとらない)が存在する所がある。
 - プライベートな問題を聞かれる(結婚したら、子供ができたらどうするのか)
→ 現実問題(不十分な社会制度、古い社会慣習への束縛)としてあるので、場合によっては積極的な話し合いが重要。
6. 女性の仕事環境(男女共) よい・まあ良い53% 少し又は非常に問題あり47%
問題点:
 - 子供をもつ共働きの人に対する職場の無理解(不必要な超過勤務、無神経な会議時間の設定)
 - 不十分な社会制度(保育所の不足、中途採用制度が未熟)
7. セクシュアルハラスメント(女性のみ) 受けた67%(博士課程の学生以上では85%)
定義:資料3
 - 性的な冗談、展示物(ヌードポスター)、行動(体を触る、宿泊所の部屋に入ってくる)。国際的セクハラも。
 - 女性軽視の暴言(指導教官から、上司から、同級生から).....減少傾向にはある
 - 「女性」ひとくくりの批評、意見
 - ダブルスタンダード(女性はこうあるべき)の押しつけ
8. その他の自由意見(男女共)
 - 応援してくれる人達がいたから、数々の困難・ストレスの中頑張ってきた。
 - 学会での女性の環境の向上は、実績をあげてきたからこそある。今後も努力が必要だし、若い人も続いて欲しい。
 - 職場では対応しきれないセクハラなどに対してのとりあえずの相談窓口、情報交換の場、または、そのための名簿、メールリストがあったらよい(64%の女性)。

資料1

気象学会女性会員に関するアンケート

[] のある設問については、この中から選択してください。

1. あなたは女性ですか男性ですか (男性でも以下の質問に答えて下さい)。 [女性/男性]
2. 職業について
 - (a) 職名は? [研究機関研究員, 大学教官, 学生 (学年), その他 (具体的に)]
 - (b) 仕事の内容は (気象学会との関わりについて手短かに)?
 - (c) 学生の方 (無給の研究員も含む) へ 将来どのような職につきたいと考えていますか。
[A1. 気象研究者 A2. 気象関係の仕事 (研究者に限らず) A3. 気象以外の仕事 A4. 未定]
 - (d) 就職活動 (大学院入学も含む) において、男女差別・区別を受けた、または感じた経験はありますか。 [YES/NO] ★ YES の人へ できれば具体的に述べて下さい。
 - (e) その職業に対する満足度は?
[A1. 大変満足 A2. まあ満足 A3. ちょっと不満 A4. 大変不満]
★ A3, A4 の人へ できればその理由を述べて下さい。
 - (f) この問題に対し意見があれば自由に
3. 研究活動について
 - (a) ずばり、研究活動は充実していますか。
[A1. とても充実 A2. まあ充実 A3. あまりしてない A4. してない]
 - (b) 気象学会での女性の活動をどう思いますか (あえて区別して考えてみて下さい)。
[A1. 活発 A2. 不活発 A3. 男女の差は感じない, A4. その他 (具体的に)]
 - (c) 「女性」 (または男性) であるために起きたと考えられる研究活動に関する「利益」はありましたか。 (すぐ顔を覚えてもらえた等) [YES/NO]
★ YES の人へ: できれば具体的に述べて下さい。
 - (d) 「女性」 (または男性) であるために起きたと考えられる研究活動に関する「不利益」はありましたか。 (フィールドワークに参加できなかった等) [YES/NO]
★ YES の人へ: できれば具体的に述べて下さい。
 - (e) この問題に対し意見があれば自由に (学会に対する要望など)
4. 仕事環境について
 - (a) 現在の女性の仕事環境についてどう思いますか。
[A1. よい A2. まあよい A3. 少し問題がある A4. 大変問題がある]
★ A3, A4 の人へ: 具体的にはどのような問題ですか。 またそれはどのようにすれば解決できると思われますか。
 - (b) 学会、職場で不当な男女差別・区別発言、性的いやがらせ等を受けた (またはそう思う) ことがありますか。 [YES/NO]
★ YES の人へ:
 - それはいつ頃どのようなことだったか、どのように対処したか、できれば具体的に書いてください (複数可)。
 - それは仕事にどのくらい影響しましたか (精神的ダメージで1週間ほど仕事の効率が下がった等)。
 - (c) 過去を振り返って、学会、職場での女性の仕事環境はどのように推移したと思いますか。
 - (d) 1992年の筑波の学会で「女性研究者の会」なるものが行なわれたことがありますが、そのような会は必要と考えますか。 [YES/NO]
★ YES の人へ: どのような活動が望ましいでしょうか。
ちなみに、その会は女性会員が以前と異なりお互いの存在を知らない位に増えてきたので顔あわせ、ということで昼食会を行ないました。時間がほとんどなかったために簡単な自己紹介だけで終わりました。
 - (e) この問題に対し意見があれば自由に